

堰堤の検査 =瀬戸谷=

瀬戸(せと)谷は、堰堤左岸側と、道路を築造する工事。この日は、堰堤の施工が完了(写真①)したため、中間段階の技術検査を実施した。

午前中は書面検査。堰堤築造のための関係資料を検査官である調査・品質確保課長が検査した。施工計画に基づいた施工が行われているか、安全に施工するためどのような安全管理を行っているか、品質に問題はないか、といった多岐にわたる項目を検査。

午後は現地に赴き、砂防堰堤の出来高(大きさや高さなど)や出来栄を検査した(写真②、③)。

中間段階の検査も無事終わり、工事はいよいよ最終段階に進む。



コンクリート削孔作業が進む ~東前の谷~

東前(ひがしまえ)の谷では、既設堰堤に流木対策施設を設置するための工事を実施している。

先日、既設堰堤のスリット化が完了(写真④)し、流木対策施設を築造するための準備段階に入った。この後、流木対策施設を設置し、コンクリートを流し込む作業となる。このため、既設堰堤と新しく築造するコンクリートの連結を強化するための鉄筋を差し込む4cmの穴を削孔している(写真⑤)。

削孔作業は、写真⑥の器具を先端に取り付け回転させ、中央の穴から空気を送って硬いコンクリートを削孔。

この作業が完了するといよいよ流木対策施設が現地に設置される。



天候に感謝！ 各現場の工事が進む

このところ天候に恵まれ、各現場の工事が進んでいる。

日洞(ひぼら)谷では本堰堤、側壁の姿が(写真A)、大蔵(おぞう)谷では付け替え林道の姿が見えてきた(写真B)

エノマ谷では、本堰堤と副堰堤をつなぐ管理用道路の施工が進む(写真C)。

高地(たかち)谷では、2工区の補強土壁工事に着手(写真D)。

敷原(しきはら)谷では、入口前の国道工事との調整を図りつつ(写真E)、堰堤工事が進む(写真F)。



全国の土砂災害発生件数は1423件※！

先日、「平成23年 全国の土砂災害発生件数(速報版)」が国土交通省から発表された。これによると全国の土砂災害発生件数は、土石流等が422件※、地すべりが222件※、がけ崩れが779件※、計1423件※の土石流が発生している。(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/index.html 土砂災害速報参照)

当事務所管内でも8月に根尾越波(ねおおっぱ)地先で土石流が発生した。このような土砂災害を少しでも少なくするため、越美山系砂防事務所は事業を進めています。



※データは全て速報値です。